

令和5年度 弘前市総合教育会議

資 料

日時：令和6年1月31日（水）

午後3時00分から

場所：岩木庁舎2階 多目的ホール

■ 協議事項 「学校における働き方改革について」

【議題】学校における働き方の現状と課題について……………（担当：教育総務課）

社会の急激な変化が進む中、学校への期待や役割が増え続け、学校が抱える課題は学習指導にとどまらずより複雑化・困難化しています。これらが要因となり、教員のなり手不足や長時間労働が問題となっていることから、教職員の多忙化解消に向けた多様な取り組みが求められるところです。

《キーワード》

- 長時間労働……………行事・会議等の見直し、保護者対応、時差出勤、中学校の部活動
- 働きやすい環境…教員不足、ノー残業デー、休暇制度周知、複数担当制、支援員等の派遣
- ICT活用……………通知票等の電子データ化、統合型校務支援システム
- 働き方改革プラン……………取組状況の調査、取組事例の共有

1 業務時間外5か月平均比較(働き方改革プラン策定後の4月から8月までの5か月で比較)

	R4	R5	削減時間（h）
小学校	33.2	32.7	-0.5
中学校	46.3	44.2	-2.1

2 主な取組事例

- ・児童の出欠確認や保護者へのアンケートは Google フォームを活用した。
- ・先生方の意見を取り入れながら行事を精選した。
- ・職員会議の時間を1時間以内で終えるようにした。

【議題】部活動の地域移行の現状と課題について……………（担当：学校指導課）

部活動の地域移行とは、これまで教員が実質的に無償で担ってきた部活動の指導や運営を、地域のスポーツクラブなどが受け皿となって担うことです。

令和4年12月に国が策定したガイドラインでは、令和5年度から令和7年度末までの3年間を「改革推進期間」と位置づけ、部活動改革を進めていくこととしています。

地域移行に向けた現状の課題としては、「地域の受け皿不足の解消」「指導者の確保」「保護者の負担の軽減」が挙げられます。

また、小学生の約15%はスポーツ少年団に加入しており、小学生対象のスポーツ少年団は他市に比べて充実している一方で、中学生の約87%が部活動に加入しているため、中学生を対象としたものについては、どうしても教員の協力を頼らざるを得ない状況にあります。

《キーワード》

- 受け皿……………民間クラブ、公民館こどもクラブ、地域ボランティア、習い事、(学校)
- 部活動の解体……………教員の負担軽減及び意識改革、新しい制度
- 指導者……………指導を希望する教員・保護者、部活動指導員・部活動アシスタントの派遣
- 合同部活動……………他校生の受け入れ、活動場所への移動、活動費、用具の保管、責任の所在
- 周知……………生徒、保護者、関係団体、市民全体
- 保護者の負担……………送迎、活動費の負担、見守り、連絡体制

【内訳】令和5年度中学校部活動設置状況〔市立中学校全16校（全生徒数3,359名）：部活動加入率87.2%〕

運動部		陸上	軟式野球	ソフトボール	サッカー	バスケットボール	バドミントン	バレーボール	ソフトテニス	卓球	柔道	剣道	合計
設置校数 (校)	男子	14	13	0	6	7	5	5	5	11	5	6	
	女子	14	0	6	0	7	5	10	6	11	5	6	
加入者数(人)		372	137	72	91	228	184	296	219	279	50	92	2020
加入率(%)		11.1	4.1	2.1	2.7	6.8	5.5	8.8	6.5	8.3	1.5	2.7	60.1

文化部	吹奏楽	演劇	合唱	音楽	美術	コンピュータ	囲碁将棋	総合文化	文化	日本文化	創作活動	科学	読書	郷土芸能	家庭・アート クラブ	合計
設置校数(校)	11	2	1	1	4	2	1	5	4	1	2	1	1	1	1	
加入者数(人)	326	38	6	7	136	62	7	143	34	29	30	26	20	7	38	909
加入率(%)	9.7	1.1	0.2	0.2	4.1	1.9	0.2	4.3	1.0	0.9	0.9	0.8	0.6	0.2	1.1	27.1

※加入率は、全生徒数3,359名に対する割合。